

まず行動する



共に考え行動する



力をまとめる



確かめ合う

1 【 研修に関する話題の日常的な投げ掛け 】

同じ目標に向かって職員全員で研修を行っていきたい。

校内研修の時間だけではなく、放課後など、ちょっとした時間を利用して、研修に関する考え方や指導方法を先生方と一緒に考えたり、情報交換を行ったりしている。

日常の指導の中で研修を意識してほしい。

先生方が日常的に集まる機会(学年会等)を利用して、研修に関する内容や考え方、お願い等を伝えている。

校内研修の提案を理解してほしい。

「こんな感じで考えているのですが」等の言葉掛けをし、校内研修会で提案したいことを事前に先生方に分かりやすく説明している。

職員全体の共通理解を図るために、日常的に時間を見つけては、研修に関する話題を投げ掛けている。

2 【 職員の能力や思い・願いを生かす協調的な連携 】

多くの先生方が納得するような研修を進めたい。

研修内容に対して、意見が対立しがちな職員には、提案前に特に積極的に声を掛けている。また、事前にアンケートを取り、全職員の意向を把握するとともに、日常的にも良い雰囲気生まれるように積極的にコミュニケーションを図っている。

負担を増やさずに、先生方を生かした研修を進めたい。

研修の振り分けは、時期や各主任の仕事内容・専門性を考慮し、声を掛けて打診し、返答をもらってから決定している。

学年や部会の先生方がそれぞれ連携・協調しながら、研修を進めてほしい。

学年や部会のチーフとは日常的に頻繁に声を掛け、チームで協力し、連携しながら研修を進めてもらえるようお願いしている。

研修が組織的に行えるように、先生方の能力や思い・願いを生かしつつ、連携しながら協調的に支援している。

まず行動する



共に考え行動する



力をまとめる



確かめ合う

3 [学年や部会での考えや計画・段取りの柔軟な調整]

全体での話し合いを効率良く調整したい。

最初に、学年や部会などの小グループで話し合いをしてから、全体会で意見を調整している。

学校組織として全員が同じ目標で進んでいきたい。

学年や部会のチームとの話し合いをできるだけ多くもつようにし、それぞれの考えや方針を常に確認しておくようにしている。また、チームには学校として統一した内容や考えを学年や部会に確実に伝えてもらうように依頼している。

他の学年や部会がどのようなことをやっているのかを常に確認できるようにしたい。

学年や部会ごとの進行状況(授業写真や成果等)をパネルに掲示できるようにし、誰でも進行状況が把握できるようにしている。

研修に関する学年や部会での考えや計画・段取りを柔軟に調整している。

4 [職員全員の考えを生かす柔軟な調整]

全員の職員が学び合いながら、研修を組み立てていきたい。

校内研修をワークショップ型の研修にし、各職員の意見をKJ法等でまとめていく作業を取り入れ、研修の方向性を全職員でつづけている。

研修の方向性が間違っていないかを常に確認したい。

職員に定期的に研修に関する評価をしてもらい、研修の改善を行っている。また、管理職とも密に連携し、研修の方向性について定期的に確認している。

先生方の様々な意見を吸い上げ、研修の計画を調整したい。

できるだけ早い段階で、分かりやすい提案資料を作成し、先生方に提示している。事前に読んでもらうように工夫し、質問を受けながら、再度、計画や段取りを構成している。

様々な考えをもつ先生方の意見を柔軟にくみ上げ、研修内容を調整している。

教頭

教務主任

学年主任

研修主任